

みやけの風

第 31 号

平成13年(2001年)5月26日(土)発行
発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター
発行責任者：上原 泰男
東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ10階
東京ボランティア・市民活動センター 気付
TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646
E-mail：tokyocenter@cmpo.org

「雨だじよな」「だから」「島でも降ってるだかし」「おうよな」「んでも、秋川の6年生は日光に行って楽しんで来ただつて」「この天気にか」「だから。んでも、だいぶよかつたつて話だぞ」「子どもらは元気でいてほしいよな」「まったくな」

みんなの声

～今週は“各地でぞくぞく生業再開”特集です～

(1) セイダイ 笹塚について開店

三宅島を離れてから、すでに10ヶ月が過ぎようとしておりますが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。私は去年7月に、胃の手術の後に体重が20キロも減ってしまい、体力に自信が持てませんでしたが、幸いそれもおさまり、最近では徐々にではありますが、仕事への意欲も出てきました。

5月1日より、渋谷区笹塚観音通り商店街に、26坪ほどの店を開店いたしました。幸いに不慣れな土地にもかかわらず1日500人から600人の来店客があります。まだまだお客様のニーズが的確につかめず、私をはじめ従業員は右往左往しております。どうぞお近くにお出かけの際には、お気軽にお立ち寄りください。店の立ち上げにたいしては、国、東京都をはじめ、金融機関の方々には大変お世話になり感謝しております。1日も早く皆様と一緒に三宅島に帰る日を楽しみに仕事に励んでおります。三宅島の方々のご健

康をお祈りいたします。

正大ストア

場所：渋谷区笹塚1-21-11 ジョイビル1F
電話：03-3481-9623

(浅沼 正大)

(2) ビストロ おきみくら

「Bistro おきみくら」は昨年9月まで坪田で食事プラス宿泊施設も併設した「ブチホテルおきみくら」という名で営業をしておりました。

しかし、9月初めには全島避難という形で島を出ることになってしまい、営業を続けることが出来なくなってしまいました。このたびようやく都内で営業を再開できることになりました。「Bistro おきみくら」では伊豆諸島の食材を使った料理、島の焼酎などお出ししています。ランチもやっておりますので、気軽にお立ち寄り下さい。

メニュー

【ランチ(11:30～14:00)】パスタランチ¥750(サラダ・コーヒー付き)など

【ディナー(17:00～24:00)】伊豆七島名物(あしたば・くさやなど) / 焼酎で七島めぐり! ¥980で飲み放題

ヴァイオリンリサイタルに三宅島島民をご招待

日本を代表するヴァイオリニスト天満敦子さんのリサイタルに三宅島島民を無料ご招待します。演目は J.S.バッハの無伴奏曲プログラム、お席は全席自由席。一人でも多くの三宅の方々に関心をして戴きたいと願っております。お気軽に、お問い合わせください。

お問合せ先：川崎音楽事務所(川崎)
Tel：044-944-3393

Bistro おきみくら

場所:品川区南品川3-5-3 青横ビル3F
(京浜急行青物横丁駅下車3分)
電話:03-5715-3688
HP: <http://miyakejima.com/okimikura/>

(赤木 一之)

(3) 西野園芸 産直花ギフト再開

今年の2月に八丈島へ単身移りましたが、やはり海と山に囲まれた生活環境は、気持ちを癒してくれますね。

当地農家のご厚意でビニールハウスを借りることができ、3月にユリ球根植付け、4~6月と育て7月には出荷となります。市場出荷でなく、全てお中元用の産直です。三宅島へ帰れるのはまだ数年かかるのですが、その日が来るまで八丈島でユリを作りながら待つつもりです。そして、帰島した時は噴火前と同じように、園芸に海に、思う存分仕事をしたいですね。

その日まで希望を捨てず頑張りましょう。

三宅島 西野園芸 八丈島

E-mail: nishino@nishino-farm.com

HP: <http://www.nishino-farm.com>

(八丈島 西野 直樹)

(4) スナックパロン「スナック紫」として再開

避難して早くも8ヶ月が過ぎ、何とか東京の生活にもなれ、頑張らなくてはという気持ちにやっとなり、さて何をしようか色々考えました。私達も48歳なら仕事もあるかもしれな

い、68歳なら年金がもらえる、でも、58歳ではとてもだめ。そんな沈んだ気持ちでいましたが、これでは皆を引っ張っていくことが出来ないと思い、やっと江戸川区松江にお店を見つけることが出来ました。準備をしながら、島の店にはあれがあったのに、あ~あ買わなくてはだめかなどと言いながら頑張っておープンにこぎつけました。

“さあ~、今日は「スナック紫」の開店、ファイトー”7時から1時までが営業時間です。右も左もわからない所でのオープンお客様が来てくれるかな?

一番最初のお客様は、店の上のアパートの84歳の島のおばあちゃん。“わあ、女性客が一番だ、幸先がいいネ”とマスターと。店には島の写真も貼ってあります。お客様一人一人を大切に、島に帰れる日まで頑張りたいと一日一日はりきって店にかよっています。(本当は店の名前を「三宅島パロン」にしたかったのですが、予算オーバーで看板を取り替えられないので前の方の名前でやることにしました。)

皆様も大変でしょうが、1日も早く島へ帰れるよう、東京で明るく毎日をお過ごし下さいますよう、お身体を大切に。

スナック紫

場所:江戸川区松江2-19-19

電話:03-3674-5344

(江戸川 飯倉 則子)

一人で悩まないで...

被災市民専用無料法律相談 **電話 (03) 3359 3552**

土日祝日を除く毎日、午後4時から午後7時まで

法律上の困り事や悩み事の相談を無料でお受けします
また、司法書士報酬を免除することができるようになりました
詳細は、お気軽にお電話ください

全国青年司法書士協議会(全青司)事務局
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-2 伊藤ビル7階
電話(03)3359 3513 FAX(03)3359 3527